

拡大支部・分会代表者会議あいさつ

2022年1月15日
新潟県高等学校教職員組合
執行委員長 吉田裕史

新年あけましておめでとうございます。

新型肺炎感染症は第6波が急拡大しており、新潟県も先週から新規感染者が100人を超える状況となっています。本日の支分代及び新春のつどいの開催については11月の執行委員会で決定しましたが、1月8日に感染状況を踏まえて新春のつどいの飲食交流は持ち帰り弁当に変更することとしました。本来ならば組合員や来賓の方々と懇親を深めて2022年のスタートを切るべきところを急遽変更させていただいたことにご理解をいただきたいと思えます。

昨年は地公労確定交渉で臨時的給与削減を考慮した「最大限の努力」を求め、給与削減率の圧縮を初めて実現できました。このことは、新型肺炎感染症対応で病院や保健所、福祉職場、そして行政窓口や教育現場で県民の生活や命を守るために奮闘してきた地公労の団結の力があって成し遂げられたものです。

GIGA スクール構想の前倒しによるICT教育の拡大、「統合型校務支援システム」の導入に向けたデータ移行作業など、現場では新たな業務が増える一方です。その実態を調査し、県教研集会でその背景や問題点を分析・議論し、当局交渉で追及できたのも組合があるからです。

今年は教員免許更新制の廃止や定年延長制度の交渉など、大きな課題が山積しています。地公労、新教連と連携して県当局・県教委交渉に当たるとともに、全国の仲間とともに「学校の働き方改革」の推進と給特法廃止を実現していかなければなりません。そのためにも、組織拡大をすすめ夏の参議院選挙で全国比例は日政連推薦候補「古賀ちがけ」さん、そして新潟選挙区は現職森ゆうこさんの当選を果たしていきましょう。

厳しい情勢だからこそ安心して働き続けられる職場づくりをめざして奮闘することを決意し、本部執行部を代表しての挨拶とさせていただきます。